

船舶事故等調査報告書

平成27年4月23日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014那第50号
事故等種類	乗揚
発生日時	平成26年12月4日 10時10分ごろ
発生場所	沖縄県豊見城市瀬長島南方沖 ムーキ灯標から真方位032° 1,800m付近 (概位 北緯26°09.54′ 東経127°37.85′)
事故等調査の経過	平成26年12月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	作業船 さとみ丸、6.6トン
船舶番号、船舶所有者等	295-32532 沖縄、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	なし
損傷	プロペラ翼及びプロペラガードに曲損
事故等の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、作業員1人を乗せ、護岸工事作業のため、平成26年12月4日08時10分ごろ豊見城市与根漁港を出港し、瀬長島西方沖の作業現場に到着したものの、09時30分ごろ、荒天のため、作業ができずに帰途についた。</p> <p>船長は、往路のコースを目視で確認しながら航行していたところ、雨により視界が遮られ、船位を確認することができなくなったので、航行を中止して錨泊の準備中、風浪に圧流され、10時10分ごろ瀬長島南方沖の浅礁に乗り揚げた。</p> <p>本船は、タグボートに引き出され、自力で航行して与根漁港に入港した。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 雨、風向 北、風力 6、視界 不良</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の末期、波高 約3m</p> <p>豊見城市には、12月4日07時38分に大雨及び強風注意報が発表されていた。</p>
その他の事項	<p>本船には、GPS、レーダー等の航海計器が備えられていなかった。</p> <p>船長は、出港前に気象情報を入手しており、天候が悪化するの分かってはいたが、作業現場が近いので、しばらくは大丈夫だろうと思っていた。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.4m、船尾約1.2mであった。</p>
分析	
乗組員等の関与	あり

<p>船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析</p>	<p>なし あり</p> <p>本船は、大雨及び強風注意報が発表されていた状況下、雨により視界が遮られ、船位を確認することができなくなったので、航行を中止して錨泊の準備中、風浪により圧流されたことから、瀬長島南方沖の浅礁に乗り揚げたものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が、大雨及び強風注意報が発表されていた状況下、雨により視界が遮られ、船位を確認することができなくなったので、航行を中止して錨泊の準備中、風浪により圧流されたため、瀬長島南方沖の浅礁に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 注意報等が発表されたときは、出港の可否判断を慎重に行うこと。